

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前のこの説明書およびお読みの上、正しくお使いください。お願い申し上げます。
なお、この説明書は必ず手に取り、必要に応じて大切に保管してください。保証期間中に発生した故障、修理などのお問い合わせは、弊社お客様相談窓口へご連絡ください。
お問い合わせ先は、保証期間中は保証書に記載されている「お問い合わせ先」の電話番号またはお問い合わせ先にご連絡ください。
お問い合わせ先以外では保証書に記載されていない場合があります。
※お買い上げ時の電圧は、機能や性能を確保するための電圧(モーター電圧)です。保証期間中でも電圧変動は許容範囲内です。
※商品に付属品として提供されている場合があります。必ずお読みください。お読みいただいた場合は、お読み、汗、汗、水分などが付着しては、故障の原因となります。

■特徴と各部の名称とはたらき

●7T04/YM04 (1/5秒計測60分計)
●VK61 (1/5秒計測60分計)
●7T11 (1秒計測12時間計)
●VK63 (1/5秒計測60分計)
●7T12/YM12 (1/5秒計測60分計)
●VK64 (1/5秒計測60分計)
●7T62/YM62 (1/5秒計測60分計)
●VK67 (1/5秒計測12時間計)
●7T82/YM82 (1/100秒計測40分計、連続120分作動)
●VK68 (1/5秒計測60分計)
●7T92/YM92 (1/20秒計測12時間計)
●VK73 (1/5秒計測60分計)
●7T94 (1/5秒計測60分計)
●VK83 (1/5秒計測20分計)

■時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ (基本時計・ストップウォッチ針)

●時刻の合わせかた (基本時計)
①りゅうずを2段目まで引き出してください。小秒針が止まります。
小秒針は12時の位置に止めてください。
※VK64には小秒針がありません。
※7T/YM
ストップウォッチ計測中は、ストップウォッチが強制リセットされます。
※りゅうずとカレンダー位置はモデルによって異なります。
※VK
ストップウォッチ計測中は、ストップウォッチ計測は継続します。
※小秒針位置はモデルによって異なります。
②りゅうずを右回して、「基本時計」の時刻を合わせます。
この時、合わせる時刻は、今から数分後の時刻に合わせることをお勧めします。この後「ストップウォッチ針の0位置合わせ」を行なうからです。
すべての合わせが終わってから、りゅうずを押し込むことになるので、数分先の時刻に合わせておく必要があります。
※日付が変わるところが、午前0時(午後12時)です。24時針を参考に午前・午後を間違えないように合わせてください。
※この時、正確に合わせるために日付を正しい時刻より4~5分進めてから針を戻して合わせてください。
※7T11/7T12/VK63/VK68/VK73/YM12は、24時針は時針と連動して動きます。

③ボタン⑥を押して、「アラーム小時計」の時刻合わせをします。(7T62・YM62のみ)
②で合わせた基本時計の時刻と同じ時刻に合わせます。
ボタン⑥を押し続けると、早送りします。
※アラーム小時計には、午前/午後の区別はありません。
④ボタン②を2秒以上押し続けてください(7T/YM使用モデルのみ)。修正できる針が次々と切り替わります。
ストップウォッチ針を0位置に合わせてください。ボタン⑥を押し続けると、早送りします。
※針は1周自動的に回って修正状態であることを示します。その後、ボタン⑥を押し合せてください。
※アラーム小時計は、午前/午後の区別はありません。
⑤ボタン⑥を押して、「アラーム小時計」の時刻合わせをします。
②で合わせた基本時計の時刻と同じ時刻に合わせます。
ボタン⑥を押し続けると、早送りします。
※アラーム小時計には、午前/午後の区別はありません。
⑥ボタン②を2秒以上押し続けてください(7T/YM使用モデルのみ)。修正できる針が次々と切り替わります。
ストップウォッチ針を0位置に合わせてください。ボタン⑥を押し続けると、早送りします。
※針は1周自動的に回って修正状態であることを示します。その後、ボタン⑥を押し合せてください。
※アラーム小時計は、午前/午後の区別はありません。

7T04/YM04	7T11	7T12/YM12	7T62/YM62	7T82/YM82	7T92/YM92	7T94
分針	分針	分針	分針	分針	分針	分針
秒針	秒針	秒針	秒針	秒針	秒針	秒針
24時針	24時針	24時針	24時針	24時針	24時針	24時針
日付	日付	日付	日付	日付	日付	日付

■日付の合わせかた

※7T11は日付が付いています。
時刻合わせができてから、日付を合わせてください。
1ヶ月が31日でない=小の月(2, 4, 6, 9, 11月)の翌月のはじめに、日付を合わせ直すときに
行ないます。
●日付の合わせかた
①りゅうずを1段目引き出してください。
②りゅうずを右回して、日付を合わせてください。
※午後9時から午前3時まで日付を合わせないでください。
この時間帯は午前と、翌日になって日付が変わらないことがあるのでこの時間帯外で合わせてください。
③合わせ終わったらりゅうずを押し込んでください。

■りゅうずについて

りゅうずには、通常のものどロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。
お使いの時計のりゅうずをご確認ください。
通常のりゅうず
そのまますり出してください。
ねじロック式りゅうず
操作するときはロックをはずします。
※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。
※ねじロック式りゅうずは、ねじが無理にしめるとねじ部がこぼれやすくなりますので、ご注意ください。

■製品仕様

	7T04	7T11	7T12	7T62	7T82	7T92	7T94	VK61	VK63	VK64	VK67	VK68	VK73	VK83	YM04	YM12	YM82	YM92
1. 表示機能																		
2. 表示形式																		
3. 作動温度範囲																		
4. 駆動方式(ステップモーター式)																		
5. 表示内容																		
6. 仕様電池(酸化銀電池)																		
7. 電池寿命																		
8. 電子回路																		

■ストップウォッチの使いかた (7T/YM 使用モデル)

(ストップウォッチ針の0位置について)
・ストップウォッチをセットしても、ストップウォッチ針が0位置に戻らない場合、0位置合わせが必要です。
・ストップウォッチ針の0位置合わせは、基本時計の時刻合わせと同時にを行います。
(→ ■時刻合わせ・ストップウォッチ針の0位置合わせ)を参照。
●ストップウォッチのリセット方法
・ストップウォッチ針が動いている場合、
①ボタン⑥でストップ
②ボタン⑥でリセット
・ストップウォッチ針が止まっている場合、以下の3つの場合があります。
【ストップ状態で止まっている】
①ボタン⑥でリセット
②ボタン⑥でストップ
③ボタン⑥でリセット
【スプリット表示でストップ状態】
①ボタン⑥でストップウォッチ針が早送りし、その後止まる。
②ボタン⑥でリセット
●通常の使用方法
●時間計測を積算する行なう場合
●途中経過(スプリットタイム)を計測する場合
●2人のタイムを計測する場合

■ストップウォッチの使いかた (VK使用モデル)

○ストップウォッチは時刻とは別に独立して計測します。
○スプリットタイムの計測はできません。
なおボタン押し(①⇒②⇒③)でリセットされませんが不具合ではありません。
しかしリセットする際はボタン②を押し(スタート)⇒④(ストップ)⇒⑤(スタート)⇒⑥(ストップ)⇒④(スタート)でリセットさせてご使用ください。
●通常の使用方法
●時間計測を積算する行なう場合
●途中のスタート/ストップは何回でも繰り返すことができます。

■タキメーターがついている場合

＝タキメーター (TACHYMETER) がついている場合＝
●単位時間あたりの時速や出来高などが簡単に測定できます。
①1km 走るの要した時間を計測します。
②秒針が指しているタキメーターの数字を読みとります。
80km/時
1時間あたりの出来高を求める場合
400個/1時間あたり

■ワントタイムアラームの使いかた (7T62・YM62のみ)

・セットした時刻に1回だけ鳴る。「ワントタイムアラーム機能」です。鳴った後、セットした時刻はキャンセルされます。
・約12時間先までの時刻に1分単位でセットができます。
●アラーム時刻の合わせかた
①リュウズを1段目まで引き出してください。
②ボタン⑥を押して、アラーム時刻を合わせます。
③合わせ終わったら、リュウズを押し込んでください。
●鳴っているアラームを止めるには
アラーム設定時刻になると20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタン⑥、⑧のいずれかを押ししてください。
●アラーム時刻の修正またはキャンセルする方法
・セットしてあるアラーム時刻を修正したい。
・セットしてあるアラームをキャンセルしたい。
①リュウズを1段目まで引き出してください。
②ボタン⑥を押して、アラーム時刻の修正ができます。押し続けると早送りします。
③修正またはキャンセルできたら、リュウズを押し込んでください。

■使用上の注意とお手入れについて

▲警告
・次のような場合、ご使用を中止してください。
○時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
○バンドのヒビが飛び出してきた場合
※さらに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。
・部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
・万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
・電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。
・この時計はスクューバダイビングや飽和潜水には絶対には使用しないでください。
・スクューバダイビングや飽和潜水の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っています。専用のダイバースウォッチをご使用ください。
▲注意
・以下の場所で携帯・保管は避けてください。
○揮発性の薬品が散布されているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
○5℃～35℃から外れる温度に長時間なること
○高湿度なところ
○磁気や静電気の影響があるところ
○ホコリの多いところ
○強い振動のあるところ
※電池の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が満満するおそれがあります。
・アレルギーやぶくれを起した場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
・水道蛇口から水をかけるとは避けてください。
・直射日光から水をかけるとは避けてください。
・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
・蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
○その他ご注意
○商品の分解・改造はしないでください。
○乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーを引き起こすおそれがあります。
○使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
○つけ時計やバンドの時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いはご注意ください。
衣類や手、首などを傷つけない、首を締めたりするおそれがあります。
●耐磁性能について (磁気の影響)
・この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。
耐磁性能表示なし
磁気品より10 cm以上遠ざける必要があります。
磁気品より5 cm以上遠ざける必要があります。(JIS 1種)
磁気品より1 cm以上遠ざける必要があります。(JIS 2種)
磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。
この時計が磁気の影響を受ける理由
内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。
時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例
携帯電話 (スピーカ部)
ACアダプター
バング (磁石の止めがね)
交流電氣 (電線)
電磁調理器
携帯ラジオ (スピーカ部)
磁気ネックレス
磁気健康杖

●お手入れについて
・白くからごまめに手入れしてください。
・りゅうずを引き出して洗わないでください。
・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水をかけるとは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。※非防水・日常生活防水の場合はおめください。
りゅうずは時々回してください。
・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏表表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水	水滴がかかったり、汗を多量に場合は、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 △警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5BAR	日常生活用強化防水	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20)BAR	日常生活用強化防水	空気ポンプを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこり汚れ。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。
金属バンド
・ステンレスバンドも水や汗、汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
・水や汗、汚れは、早めに柔らかい布でふき取ってください。
・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかい布で取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)残った水分は柔らかい布でふき取ってください。
・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスから発生することがあります。
・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。
皮革バンド
・水や汗、直射日光に曝く、色落ちや変色の原因になります。
・水がかかったときや汗を拭いた後は、すぐに乾いた布などで吸い取るように軽くふいてください。
・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などのご使用はお控えください。
ポリウレタンバンド
・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気により劣化する性質があります。
・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとヒビ割れが生じバンドが切れやすくなります。
かぶれやアレルギーについて
バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感の原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくご使用ください。
時計をつけた状態で、指一本入る程度でご使用ください。

■ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合
ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3時間～5時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。
なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方が異なります。
※一般的には明るく照らした場所へ入った場合、人の目には順応しません。初めものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなります。(目の暗順応)
ルミブライトは、放射線などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。
環境
太陽光
晴れ 100,000ルクス
くもり 10,000ルクス
屋内(昼間窓際)
晴れ 3,000ルクス以上
くもり 1,000～3,000ルクス
雨 1,000ルクス以下
1m 1,000ルクス
3m 500ルクス(通常室内レベル)
4m 250ルクス
照明
(白色蛍光灯40Wの下で)

■アフターサービスについて

●保証と修理について
・修理や点検調整のための分解解除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
・保証内容は保証書に記載したとおりです。
・保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。
●補修用性能部品について
・この時計の補修用性能部品の有効期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理部品です。
・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
●点検調整のための分解解除(オーバーホール)について
・長くご愛用いただくために、3年～4年1度程度の点検調整のための分解解除(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の故障状態が損なわれるため、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またバンドなどの部品の劣化が進み、汗や水の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。
点検調整のための分解解除(オーバーホール)は「純正品部品」ご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばねの交換もあわせてご依頼ください。
・点検調整のための分解解除(オーバーホール)の際は、ムーブメント交換となる場合もあります。